



▲立命館大学「若者」は「平和の子守唄」「僕らの胸に」を演奏

うたごえ音楽

2007年日本のうたごえ祭典 in 奈良を機に結成の2つの大学OB合唱団(京都)が活況。ちば祭典・合唱発表会にも共に26人以上の一般の部Bへに出場。「学生時代とはまた違う歌う意味を実感、3・11以降特に」と同志社むぎOBの船岡敬一さんは語る。

ピアノ、アコーディオン、ギター、ドラムと伴奏陣も厚く、「遠い日の歌」ほくのひこうきを演奏した同志社大学合唱団むぎ・成安ふきのとうOB合唱団。「満足度120割!」と演奏の感想を語る船岡さん。大学に入学した時から好きな合唱をやりたいと合唱団を探していた。「御所で楽しそうにアコーディオン伴奏で歌ってはるのを見て、ここがいい」とむぎに入団。団活動は楽しかっ

たが、一回生の時30人程いた団員が学園紛争にまきこまれ、船岡さんが団長になった4回生の時は3人、ついに「むぎ」は解散した。自分の代で潰れる悔い、合唱は続けたいと京都ひまわり合唱団の研究生に、そして団員になり15年ほど活動した。が、その後、よくあるケースではあるが、仕事で忙しくなり休団。仕事、もあったけれど今一つ、

卒業なし!今が青春!学生OB合唱団
立命館大学「若者」
同志社むぎ・成安ふきのとう

歌い続けるテンションが上がりなかつたのです。

1600キを

支援物資積んで

時間が経ち2007年、OB合唱団結成を誘われ、再



び歌い始めたが「やっぱり、歌だ、歌わないかん」と強く思ったのは3・11、東日本大震災がきっかけで

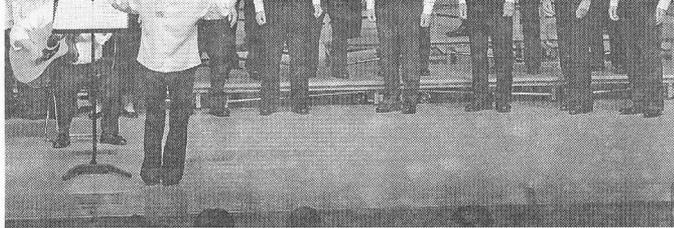
今週のうたごえ喫茶

【12月26日=月】

千葉う・旅人=アミュゼ柏14~16時◎
唐土久美子¥800 ☎090・32355656 吉川
東京青梅=河辺露台団地13時~15時30
◎新井幸子……………04・2925・3505
京都ひとやすみ13時30 ☎090・37217189

【12月27日=火】

福島音楽集団会津センター=会津若松
☎0942-97-8560



▲「学生時代とはまた違う歌う意味を実感」

歌」を歌った。「リハーサル」の時からもう涙が止まらなかつた。特に「人間の歌」は、心の底に問いかけ、迫る岩本達明さんの指示に、指揮を見ていて、辛かった情景が浮かんできて泣けて泣けて……」。

自分を励ます

歌の力

京都から被災地まで1600キロをトラックで支援物資を積んで走った。そこで見た被災地の惨状、それを目の当たりにしての被災地への想い、これから先への不安。

「その時思ったんです。歌おう、歌うことで支援する自分も励まそう」と。

を歌うとがんばっていいと、自分が励まされる。」「むぎ」でうたごえと

出会い、その「むぎ」が解散して、「ひまわり」に救ってもらって、そこを休団していたのを「むぎ」OBで救ってもらって、再び歌い始めて「ひまわり」と再会して、大震災を機に本格的に歌っていいこうと思っただ。自分の人生そのもので

かつて歌っていた頃、実はそれほど「歌の力」を感じていなかったんです。だから仕事が忙しくなると歌う気力も薄れていった。

でも、今は、本当に歌うことが生きる力だと50歳にして実感しました。きょうは、自分が歌っても他の演奏を聴いても感動しました。

「もう卒業はない」。そして「立命館大学」若者」OB合唱団がしっかり活動しているの面白い刺激です」と言う船岡さん。

人生を重ねた

歌声、今

その立命館大学「若者」OB合唱団は「平和の子守唄」僕らの胸に」を演奏。

本紙にも定期的に届く団ニュースからも濃い活動内

2012年第45回 日本全国協議会 全国総会

2月11日(土)14時～12日(日)15時

東京労音会館 R's アートコート(予定)

詳細続報

す」。

そして今年、15年ぶりに祭典・大音楽会の舞台に立ち、「ふゆめんの山影」(Great Journey)「人間の

“むぎ” OB 船岡敬一さん

歌に込められた深い人間の声・叫び・歌。今回、京都ひまわり合唱団は「光のエチュード」を歌いますが、歌詞の「死ぬわけにはいかない枯れるわけにはいかない……、



▲ドラム、ギターと伴奏陣も厚い、同志社むぎ・成安ふきのとう

容、音楽づくりが記されている。

合唱発表会演奏後、「楽しく歌えました。OB合唱団で自分の故郷に帰った気分。そう、もう卒業はありませんね」と同団島津雅彦さんも語る。

人生を重ねて、学生時代とはまた違った深い響き、うたごえのパワーを発揮。

全国の学生のうたごえOBのみなさん出番です。三輪記者

3.11が語る歌は生きる力